



鑑定の領域、自ら広げる

九州・沖縄不動産鑑定士協会連合会の  
総務・財務委員長を務める

吉田 博之さん

宅建業者を中心とする関連業者がチームを組み、中古住宅流通関連のサービスを一気通貫でサポートす

県の各市町村の関連法令・保価値ではなく借り手の属  
条例を一覧表示し、担当部  
署や役所などの地図も添付  
した1冊だ。

る。こうした仕組みづくりを進める九州・住宅流通促進協議会に、『鑑定士代表』として従事。昨年はそこで、重要事項説明の作成をサポートする「らくらく行政調査手帳」を編纂した。福岡

協議会において鑑定業の役割として想定されるのが、売買時の住宅評価。しかし発足から1年半を経た今、「難しい」と率直に明かす。金融機関の住宅ローン審査は概して、建物の担

根付いてはいない。価の新指針策定と策に期待しつつ、軸で進展を見守る。ただ、待つのみで将来はない。業界

者との間で建物評議會は「業界長い時間いつた政務領域は

自分で広げる」。この信条  
が、らくらく手帳の根底に  
ある。

を始め、鑑定士試験に一発合格。バブル後の不良債権処理に伴う不動産評価を、

数多く）なした。休日は、「仕事のパフォーマンスを左右する」というテニスで汗を流す。気持ちを切り替え、翌週の英気を養う。52

め、全市町村に担当者を付けて毎年役所に出向く。この時、より深掘りした調査を行えば、重説に応用できること」。有志を募り、半年掛けてラジオ放送をしてきた。

め、全市町村に担当者を付けて毎年役所に出向く。この時、より深掘りした調査を行えば、重説に応用できること」。有志を募り、半年掛けてラジオ放送をしてきた。

なした。休日は、パフォーマンスを「」というテニスでの英気を養う。<sup>52</sup>